

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 教員公募

- 1 職種及び募集人数 教授又は准教授 計 2 名
- 2 所 属 先端科学・社会共創推進機構 [機構 HP] <http://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
①人材育成グループ 1名
②学術研究推進グループ又は社会共創推進グループ 1名
- 3 勤 務 地 金沢市角間町 金沢大学
- 4 勤務形態 常勤教授（任期なし）又は常勤准教授（任期なし）
- 5 給 与 年俸制（その他（1）を確認）
- 6 応募締切日 令和2年11月30日（月）（当日消印有効）
- 7 採用予定日 令和3年4月1日
- 8 業務内容・応募資格・提出書類等について
①人材育成グループ 別紙1のとおり
②学術研究推進グループ又は社会共創推進グループ 別紙2のとおり
- 9 応募書類の提出先
① 金沢大学研究・社会共創推進部 地域共創推進課
(E-mail chiikikyosousuishin-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp)
② 金沢大学研究・社会共創推進部 研究推進課 (E-mail risomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

1. 応募書類は、全てE-mailにて、それぞれの提出先アドレス宛てに送付してください。
2. 5MBを超えるファイルは受け取れないため、別途アップローダーを利用してください。
3. メールタイトルは「先端科学・社会共創推進機構教員応募書類」と入力願います。
なお、応募書類は原則として返却しません。

10 選考方法

書類審査・口述試験等により行います。選考の最終過程において面接を行う場合がありますが、その際の旅費等は応募者の負担とします。

11 問合せ先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学先端科学・社会共創推進機構

①人材育成グループリーダー 教授 佐無田 光（さむた ひかる） 電話 076-264-5430

E-mail samuta@staff.kanazawa-u.ac.jp

②社会共創推進グループリーダー 准教授 安川直樹（やすかわ なおき） 電話 076-264-6157

E-mail yasukawa@staff.kanazawa-u.ac.jp

12 その他

(1) 就業規則及び年俸制は、下記URLを参照してください。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2) 応募により取得した個人情報、選考及び採用後の人事・給与・福利関係等の手続を行う目的で使用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

(3) 金沢大学では男女共同参画を推進しています。詳細は下記URLをご覧ください。

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

(4) 金沢大学では、教員の英語による教授能力向上と、英語による開講科目の増設などを前提とした英語教育に取り組んでいます。下記URL をご覧ください。

<http://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/kusgu/project.html>

① 人材育成グループ

1 グループの所掌業務

- ・リカレント教育・生涯学習型教育の推進
- ・アントレプレナーシップ教育推進
- ・インターンシップ・キャリア形成教育推進 他

2 担当業務

- (1) 本学が実施する、社会共創に係る研究・教育プロジェクトの立ち上げから遂行まで、すなわち、地域及び関係機関との交渉・折衝・調整をはじめ、あらゆる事項を采配し、総責任者としてプロジェクト全体を統括すること。
- (2) 当機構の寄附研究部門である、能登里山里海 SDGs 研究部門が所掌する、「能登里山里海 SDGs マイスタープログラム」を統括すること。
[参考] 能登里山里海 SDGs マイスタープログラム
<https://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/meister/>
- (3) 地域における課題及びその特性を理解し、自らプロジェクトを企画・立案することにより、本学の研究と地域、社会貢献をつなぎ合わせる研究マネジメントを遂行すること。
- (4) 地方公共団体をはじめとする学外組織との協働に際し、本学の対外的窓口として活動を先導するとともに、当該活動を通じ更なる連携の構築を図ること。
- (5) 人材育成グループが所掌する教育事業を総括すること。
- (6) 本学人間社会研究域等において学士課程教育を担当する可能性がある。

3 応募資格

- (1) 修士以上の学位を有する、又は、それと同等の実績を有すること。
- (2) 地域連携や産学官連携事業又は研究に従事していた実績があること。
- (3) 国籍は問わない。ただし、日本語でコミュニケーション可能なこと。
- (4) 採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。
- (5) 研究・教育に強い熱意を有し、地域連携や社会共創への積極性があること。
- (6) 将来に渡って優れた研究・教育成果を期待できる経験と資質を有すること。

4 提出書類（全て A4 で作成すること。様式任意（履歴書除く））

- (1) 履歴書（写真を添付し、高校卒業後の学歴・大学卒業後の職歴を記すこと。また E-mail アドレスを記すこと。）
- (2) 実務経験リスト
- (3) 上記（2）のうち、主要なものについての概要（2,000 字以内）。どのようなプロジェクトにおいてどのような活動に従事したかを記すこと。
特に、高等教育機関において当該経歴を有する場合は、詳細を明記すること。
- (4) 研究業績一覧
- (5) 主要論文の別刷（3 編まで。コピー可）。
- (6) 外部資金の獲得実績がある場合、その一覧（科研費、その他の競争的資金、受託研究、共同研究、寄附金等について、代表・分担等の区別、研究課題名、採択年度・期間及び金額を記入）
- (7) 金沢大学先端科学・社会共創推進機構着任後の抱負（1,200 字程度）
- (8) 応募者に関して意見をお聞きできる 2 名の研究者氏名、所属、職名、電話番号、E-mail アドレス

② 学術研究推進グループ又は社会共創推進グループ

1 担当業務

URA として、金沢大学全体の研究力強化に資する研究推進業務又は産学官連携業務を統括・マネジメントいただきます。どちらを担当されるかは、応募者の希望と経歴を考慮し、相談の上決定します。

A. 研究推進業務（学術研究推進グループ）

- (1) 競争的外部資金獲得のための企画立案
- (2) 上記を行うために必要な情報収集及び各種データ分析
- (3) 大学の研究力強化に資する取り組みの企画立案
- (4) 大学の研究力に関する IR 業務
- (5) その他（アウトリーチなど）

B. 産学官連携業務（社会共創推進グループ）

- (1) 学内の技術シーズと学外のニーズのマッチング支援
- (2) 大型産学連携共同研究の企画及びプロジェクト・マネジメント
- (3) 上記を行うために必要な情報収集及び各種データ分析
- (4) 大学の産学官連携強化に資する取り組みの企画立案
- (5) 国際共同研究等における英語での契約交渉・契約締結の支援（共同研究契約、守秘義務契約、研究成果有体物移転契約など）
- (6) 利益相反等の研究リスクマネジメントにおける課題の抽出、解決案の提案
- (7) その他（大学発ベンチャーの支援など）

2 応募資格

修士以上の学位を有し、これまでの研究経験・業務経験等を活かした研究推進業務・産学官連携業務に強い関心・意欲をもつ者。修士の学位取得が見込みの場合、その時期を明記すること。

なお、以下のいずれかの経験・能力を有することが望ましい。

- (1) 大学等の研究者や企業・自治体等の関係者との円滑な協働ができる優れたコミュニケーション能力
- (2) 大学等においてURA（産学官連携CDを含む）もしくはそれに類する実務経験
- (3) 製薬企業やバイオ系ベンチャー企業での研究開発・研究支援等の実務経験
- (4) 英語での契約交渉・契約締結業務の経験（企業法務に強い弁護士資格保有者であれば、なお望ましい。）

3 提出書類（全てA4で作成すること。様式任意（履歴書除く））

- (1) 履歴書
（写真を添付し、高校卒業後の学歴・大学卒業後の職歴を記すこと。またE-mailアドレスを記すこと。）
- (2) 業務経歴書
- (3) 研究業績リスト
- (4) 過去あるいは現在進めている研究の内容（2枚以内）
- (5) 金沢大学先端科学・社会共創推進機構着任後の抱負
（研究推進業務、産学官連携業務のどちらを希望するか明記した上で作成すること。1,200字程度。）